

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことからです。

📖の数字は、教科書のページ数です。

2年 はるねこ

 15~31

●「はるの たね」を落としてしまい、春を運ぶ仕事ができなくなった**はるね**ことあやが出合い、二人で協力して春を呼ぶお話です。

●登場人物の行動や、場面の様子に注目して読みます。

1 春の日に、はるねから、お礼の手紙ときんちゃくぶくろが届く。

2 去年の今ごろ、あやは、

困っているはるねこに「お
りがみで一緒に春をつくら
う」と提案した。二人で楽
しくたくさんの花を作って
いたら、いつのまにか広い
野原の真ん中に……。



1 年 なかよしの みち～あいうえおを つかおう 0～21

●絵を見て気づいたこと・想像したことを
伝え合い、「話す・聞く」の勉強をします。

●自分の名前を書く練習をします。

自己紹介を通して、言葉による伝え合いを楽しみます。

●「あいうえお」の詩を、発音に気をつけて
読んだり、「あいうえお」を、書き順に注
意して書いたりします。

字を書くときは、ていねいに
ていねいという気持ちをもた
せることが大事だワン。



4年 白いぼうし

 13~27

●タクシーの運転手の松井さんが見つけた白い帽子にまつわる物語です。

●場面の様子や人物の気持ちを読み取りま
す。

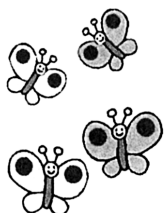
・松井さんが、道に白い帽子が落ちてい
るのを見つけた。

・帽子をつまみ上げると、**白い蝶**が逃げ出した。

- ・蝶の代わりに**夏みかん**を入れた。
- ・車の中に**女の子**が座っていた。

・女の子がいなくなってしまう、

蝶がたくさん飛んでいた。



3年	白い花びら
----	-------

 13~31

●かずきと行った探検で、ゆうたが不思議な女の子に出会う物語です。

●場面ごとの出来事や、登場人物の心情をとらえます。

1週間後	日曜日	場面2	場面1
再び探検に出かけたかずきとゆうたは、花びらを風に散らす一本の桜の木を見つける。	一人で林に向かったゆうたは、岩の上に座る少女と出会った。	かずきとゆうたは、細長い岩に乗って遊んだ。	かずきを追ったゆうたは、林に向かって話しかける少女を見た。

6年 あのをのぼれば

 13~21

●坂をのぼり山を越えて、一心に海をめざす少年の物語です。

●場面ごとの少年の心の動きを想像して読んでいきます。

・いつからどれだけ歩いているのだろう。
・どうして海をめざしているのだろう。
・疲れ切って止まってしまった少年に、
再び歩き出す力を与えたものは何だったのだろう。

疲れて
苦しくても、
海が見たかったんだね。



5年 | いつか、大切なところ 13~31

●転校を経験し、前の学校と今の学校の間で揺れ動く亮太りょうたの、成長の物語です。

●心情を表す表現に気をつけて、**亮太の気持ちの変化**を読み取ります。

- ・ 前の学校の友達に会いに行く場面
- ・ 前の学校や友達の家で過ごす場面
- ・ 今いる場所に帰っていく場面
- ・ 今の学校の女の子に声をかけられて、会話する場面
- ・ 偶然会ったお母さんと帰る場面

この後、今の学校で
お話がどうか、
考えてみよう。

